

平成 28 年度 学校法人 三幸学園 名古屋リゾート&スポーツ専門学校専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 和田 忍

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 谷口 祐平

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

28年度も即戦力として活躍できるよう「業界との連携強化」に取り組み、また、社会人として当たり前のことを当たり前にできるよう「基本に忠実に、継続する」ことを念頭に普段の学校生活から「習慣化」させることに努めた。なかでも卒業した生徒が現場で即戦力として活躍できるよう業界と連携し、カリキュラムを変更した。また、カリキュラム以外でも科目間の連携を強化した1年となった。

カリキュラム変更を導入した初年度であったが大きな混乱は無かった。しかし連携を強化し、生徒にとってわかりやすく、楽しい授業展開にしていくなめにはまだまだ改善の余地がある。

② 学校関係者評価委員会コメント

継続して業界との連携に努め、社会人教育に普段より情熱を持って取り組んでいることは大変素晴らしいと感じる。また、より実践的な教育をするためカリキュラムを変更し、教科間の連携に努めていることも評価できる。今後がとても楽しみであるとお話を頂いた。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

業界の声も取り入れつつ育成人材像は設定できているが常日頃から全員が意識し、行動レベルまで落としこめているわけではない。普段の学校生活から職員、生徒ともに意識できるような仕掛けづくりが必要となってくる。提示だけでなく、浸透が今後の課題である。また、入学前に保護者説明会にて学校の理念・目的など伝えているが、不参加の場合使用した冊子を郵送して終わっている場合がある。電話での挨拶時に触れる機会はあるが浸透度は不明である。

② 今後の改善方策

まずは教職員が意識できるよう目に見える形で資料の配布を行う。また定期的な振り返りや発信を行うことで教育の原点に立ち返る機会を創出する。また、入学前保護者会参加の促し強化を図って行き、定期的な連絡にて理念・人物育成ビジョンなど伝え理解に努めていく。

③ 特記事項

学校の理念・目的・育成人材像は、入学前のオリエンテーションや保護者説明会にて新入生及び保護者に提示している。また、入学後に行なう全生徒対象の研修プログラムでも、学校の理念・目的・育成人材像は周知し、そこに向かうべく、個々の目標設定と管理を徹底している。

校内及び教室に、学校の理念・目的・育成人材像の記載されたポスターを掲示している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

多くの方々に取り組んでいることを周知できるよう、引き続き努めて頂きたい。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

情報システム化による業務の効率化については導入が始まっている（取り組んでいる）が、十分に活用ができていない。システム化によるメリットと活用方法を浸透させていくことが課題である。

② 今後の改善方策

導入した情報システムツールの活用頻度を上げ、活用することが当たり前の環境を作り出す。
システムの活用が生徒・講師・学校側全てにとって有益であることを発信し続ける。

③ 特記事項

講師情報開示ファイルや WEB 上の教務掲示版の設置など、情報システムの導入はしている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

適切に実施していると感じる。昨年度の改善策も確実に着手しているため、今後もより一層の浸透や課題改善を図って行って頂きたい。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

近年厳しくなっている労務管理の面からも+αの研修や育成は十分に行なえていない。特に教員の指導力育成についてはなかなか実施することが難しい状況となっている。そのため、サポート体制は作っているもののクラス運営は個人能力の差はついている。

② 今後の改善方策

職員全員が集まった研修であるとなかなか時間も取りづらいので活用できる資料の共有や、動画を活用した研修なども取り入れていく。また、授業アンケートや担任アンケートをより活用し、教務力の向上と個人差を大きくしないよう努めていく。

③ 特記事項

引き続き、能動的学習を進めていく為、アクティブラーニングを取り入れた授業展開を取り入れている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

限らた環境下で最大限のパフォーマンスが発揮できるよう、引き続き努めて頂きたい。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

就職することが目的化しないよう生徒・保護者・学校の三者納得の就職支援をより強く行っていく必要がある。また卒業後の勤務継続状況など連絡が取れないなど不明なこともあるため、調査方法の改善が必要である。資格取得率向上・退学率低減に向けては数年前より取り組んでいるため、継続し続ける必要がある。

② 今後の改善方策

就職活動において早期の動き出しのみに注力するのではなく、働く意義や価値の考え方の教授からきめ細かくサポートしていくことと、企業訪問を積極的に行いつつ、同窓会との連携強化を図り卒業後の支援・状況把握に努めていく。

③ 特記事項

資格取得については、強化合宿の実施や集中講義を定期的実施するなどの取組みは行っている。また、退学率低減に向けて、入学前と入学後のギャップを大きく生じさせないため、入学前にオリエンテーションを実施し、入学者の保護者も一斉に集め、説明会も実施している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

少なからず就職後のギャップはあるが、そのギャップを少しでも在学中に埋める為にも、企業の深い情報収集と卒業生活用(講話など)をされると良いのではないかとご助言を頂く。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

在校生に対する支援にばかり目がいきがちであるので、今後は卒業生や中途退学者への支援体制も検討していく必要がある。

② 今後の改善方策

学校の中だけが教育の場と考えるのではなく、広い視野に立った包括的な支援を意識・実践していく。また、在籍時より卒業生サイトがあることの告知、有効活用方法の告知を強化していく。

③ 特記事項

学生の経済的側面に対する支援体制として、奨学金や各種教育ローンを設けている。

学生の生活環境への支援としては、提携している寮等の案内がある。

高校との連携では、職業案内のガイダンス等で協力させていただいている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

就職後、思った以上に制作物(掲示物・イベント案内など)が多いと感じている面もあり、苦勞している様子がある。授業内でのフォロー或いは困ったときに参考にできるモノ・場所があると有難いのご助言を頂く。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

定期的に教員を中心に安全管理の観点や災害時の行動を浸透させていく。

② 今後の改善方策

職員に対する非難訓練を実施し、安全面への意識を高めていく。また万が一の事態に備え非難経路の確保については常日頃から点検を行う。

③ 特記事項

平成 28 年度の 3 月に全面的な改修工事を実施したことで以前にも増して学ぶ環境を整えることができた。
防災に関して、避難訓練の実施や周知。避難経路の掲示等も対応している。
企業と連携し、現場が求めている人物像をキャッチし、実習前後の指導・アドバイスを実施している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

より一層環境整備に努め、防災に対する整備を継続して行って欲しい。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

愛知県や愛知県専修学校各種学校協会等の規定に沿って、適切に行なっているため、特に大きな課題はない。ただ、教育成果について伝えられているが、厳しい面についても伝えていく必要があると感じる場面がある。

② 今後の改善方策

AO入試や特待生入試等の入試方法について誤解を招かぬよう、説明・対応に努めて行く。また、成果の部分だけでなく、成果を達成するための厳しい一面も伝えていく。

③ 特記事項

特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

募集活動は適正に行われていると感じられる。入学後や卒業後の具体的なイメージを付けられると良い。引き続き規定に沿った対応をお願いしたい。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方策

【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

個人情報の取り扱いやコンプライアンスの遵守について継続して徹底していく必要がある。

② 今後の改善方策

現時点で問題になるようなことは起きていないが、継続して啓蒙活動を行う必要がある。

③ 特記事項

特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

引き続き適切な対応・取扱いに努めて頂きたい。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

特に大きな課題はない。

② 今後の改善方策

特になし。生徒の教育効果にもつながり地域の方々にとっても有益な講座や教育訓練を企画していく。

③ 特記事項

特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

昨今、ボランティア活動ということを目にする機会も増えてきているように感じる為、機会があれば積極的に取り組んでいただくと良いと感じる。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己評価の結果は概ね問題ないが、細部までしっかりと点検・確認し、地域や業界から必要とされる学校になるために課題を把握し、学校運営をしていく必要がある。

平成29年度でも引き続き、下記を取り組んでいく。

- ・目標や計画を具体的に設定されているように感じるため、継続的により良い学校創りに努める
- ・教育理念にある教育に一層力を入れ努める。
- ・就職支援(在学・卒業後)、検定・資格合格率向上、退学率低減により努める。